



船工 第600号
2024年3月13日
(一社)日本船用工業会
スマートナビゲーションシステム研究会

我が国提案の規格 ISO16425/19847/19848 の改訂版が制定

当会に設置しているスマートナビゲーションシステム研究会（スマナビ研）※では、2012年発足当初より検討を重ねた4つの規格（ISO 16425 船内 LAN 導入の仕様、19847 実海域データ共有化のための船上データサーバ要件、19848 船上機械及び機器用データ標準、23807 非同期の船陸間データ伝送の一般要件）の制定及び改訂に係るフォローアップを行うとともに、IT・OT・IoTの分野やサイバーセキュリティ対策に関する共通課題の研究調査を行っている。

昨年3月に制定された ISO23807 以外の過去に制定済みとなっていた3つの規格（ISO16425/19847/19848）について、時代の変化や技術革新を踏まえた内容に改訂すべく、本研究会に設置するワーキンググループで議論を重ねてきた。そしてこのたび、（一財）日本船舶技術研究協会の協力のもと、以下のとおり、本年1月末から2月にかけて、全ての規格の改訂版が無事に制定された。

- ◆ ISO 16425:2024（船内 LAN 導入の仕様）
- ◆ ISO 19847:2024（実海域データ共有化のための船上データサーバ要件）
- ◆ ISO 19848:2024（船上機械及び機器用データ標準）

ISO 16425 では、船内ネットワークにおける均一な品質を設計及び装備するために、船社・造船所・船用メーカーそれぞれの役割及び設計手順、試験基準を明確にするとともに、Wi-Fi ネットワークの設計、ISO 19847 に準拠する船上データサーバを装備するネットワークの設計、サイバーセキュリティ要件等の追加を行った。ISO 19847 では、船上データサーバに対する演算機能の実装を支援するための補足情報の提供や、第三者認証を行うために必要な試験規格の拡充、その他、サイバーセキュリティ要件やユーザーニーズに合わせクエリパラメータ等の追加を行った。ISO 19848 では、もとよりデータフォーマットやデータの命名規則を規定しており、今次改訂では、ON-OFF(イベント)データを含む具体的なデータの名称例の追加を行った。

2024年4月に SEA JAPAN2024 が開催されるが、その会期中の4月12日に行われる船舶海洋技術セミナー<第2部>において、本研究会の活動紹介並びに各 ISO 規格の紹介を予定している。また、テーマゾーンへのブース展示も行う予定としている。

【船舶海洋技術セミナー】

開催日時：2024年4月12日（金）13:30～15:15

場 所：東京ビッグサイト 東3ホール<カンファレンスルーム>

申込フォーム：[https://www.informa-japan.com/sj/seminar/index.php?_ga=2.265759114.408885793.1710292220-](https://www.informa-japan.com/sj/seminar/index.php?_ga=2.265759114.408885793.1710292220-2043277948.1706501558&gl=1*1eayiz7*_ga*NgjA0MzI3NzA0OCAnA2NTAaNTU4*_ga_XACEY3jBR3*MTcaMDI6MjIwOS42LjEwMTcaMDI6MzIwNS4wLjAaMA.*_ga*_MTc0ODYwMTgwMSAnA2NTAaNTU4)

[2043277948.1706501558&gl=1*1eayiz7*_ga*NgjA0MzI3NzA0OCAnA2NTAaNTU4*_ga_XACEY3jBR3*MTcaMDI6MjIwOS42LjEwMTcaMDI6MzIwNS4wLjAaMA.*_ga*_MTc0ODYwMTgwMSAnA2NTAaNTU4](https://www.informa-japan.com/sj/seminar/index.php?_ga=2.265759114.408885793.1710292220-2043277948.1706501558&gl=1*1eayiz7*_ga*NgjA0MzI3NzA0OCAnA2NTAaNTU4*_ga_XACEY3jBR3*MTcaMDI6MjIwOS42LjEwMTcaMDI6MzIwNS4wLjAaMA.*_ga*_MTc0ODYwMTgwMSAnA2NTAaNTU4)

講 演：

- 共に拓く海運の未来：スマートナビゲーションシステム研究会の紹介
三井 E&S 造船 事業開発部 自律船グループ長 主管 三好 晋太郎 氏
- 安全・安心な船内ネットワークを装備するために：ISO 16425 のご紹介
BEMAC 東京データラボ チーフエキスパート 山田 隆志 氏
- 船上 IoT データ活用のためのデータ標準：ISO 19848 のご紹介
寺崎電気産業 システム事業 開発設計部 開発設計2課 課長 森本 峰行 氏
- 実海域データ共有のための船上データサーバ要件：ISO 19847 のご紹介
ベニックスソリューション システム開発本部 システム開発部 部長 喜多 敏幸 氏
- 船陸間非同期データ通信規格：ISO 23807
MTI 船舶物流技術グループ 船舶物流 IoT チーム長 橋本 仁 氏
- ShipDC での ISO 活用事例
シップデータセンター 代表取締役社長 池田 靖弘 氏

本研究会は、今後もこれまでに策定した ISO 規格の実用化支援・普及啓蒙活動を行うとともに、これまでに得た知見を基に代替燃料船・自動運航船・洋上風力などの新規分野への活用等を目的に、業界の更なる発展に寄与すべく活動する。

*：2012年に発足したスマートナビゲーションシステム研究会で取り組んできた、船上及び陸上の IT プラットフォームに関する調査・研究及び開発をもとに制定した ISO 規格のフォローアップを行うとともに、日本の海事業界全体として、船の IT・OT・IoT に関する協調領域について調査研究を行うことを目的に、座長 安藤英幸氏（株）MTI）、幹事長 原裕一氏（古野電気株）をはじめとする 62 社・機関、120 名以上の体制で新メンバーを増やししながら研究活動を実施中

（事務局問合せ先）

日本船用工業会 技術部 三田村（TEL: 03-3502-2041）